

年表

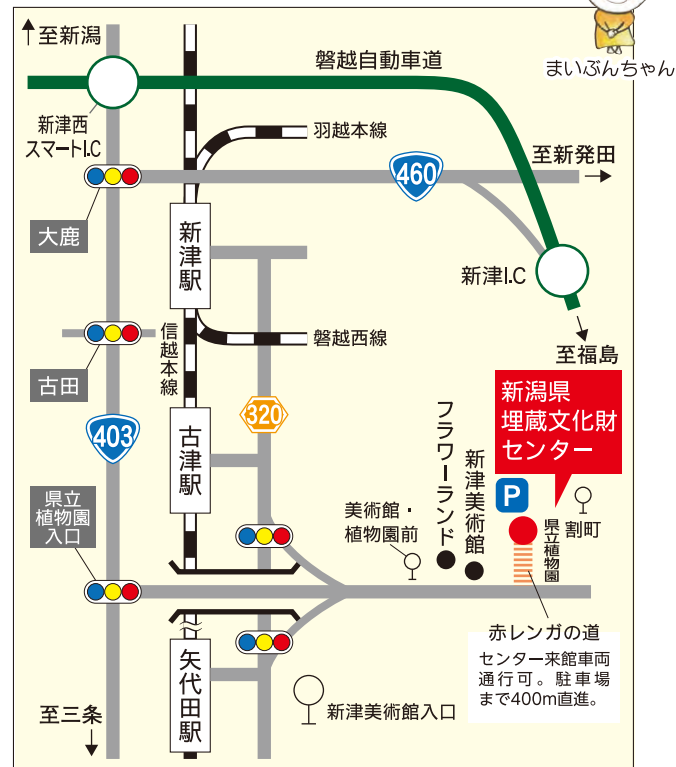
年代	時代	日本の主なできごと	新潟県の主なできごと	新潟県の主な遺跡
13000	旧石器時代	日本列島に人が住み始める ナイフ形石器が使われる 気候の寒冷化により、海面の低下がピークになる 細石刃が使われる	川沿いの段丘や丘陵に人々が住み始める	上野林J遺跡(阿賀野市) 上ノ平遺跡・吉ヶ沢遺跡(阿賀町) 神山遺跡(津南町) 荒屋遺跡(長岡市) 本ノ木・田沢遺跡群(十日町市・津南町) 小瀬ヶ沢洞窟(阿賀町) 六反田南遺跡(糸魚川市) 長者ヶ原遺跡(糸魚川市) 笹山遺跡(十日町市) 馬高遺跡(長岡市) 五丁歩遺跡(南魚沼市) 元屋敷遺跡(村上市) 青田遺跡(新発田市)
	縄文時代	土器や弓矢があらわれる	集落がつくられる(定住化が進む) 火焰型土器が流行する	
400 BC	弥生時代	稲作が伝わる 金属器が伝わる	農耕集落が形成される	下谷地遺跡(柏崎市) 新穂玉作遺跡(佐渡市) 古津八幡山遺跡(新潟市)
	古墳時代	邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使者を送る	高地性環濠集落が盛んにつくられる	斐太遺跡群(上越市・妙高市) 城の山古墳(胎内市) 葛浦塚古墳(新潟市) 保内三王山古墳群(三条市) 余川中道遺跡(南魚沼市) 飯綱山古墳群(南魚沼市)
600 AD	飛鳥時代	前方後円墳がつくられる	各地に古墳がつくられる	
	飛鳥時代	仏教が伝来する	古墳の数が増加する	
710	飛鳥時代	大化の改新 律令体制づくりが始まる	浄足の柵、磐船の柵がつくられる 越の国が燃える水、燃える土を献上する	宮口古墳群・水科古墳群(上越市) 行屋崎遺跡(田上町) 大沢谷内遺跡(新潟市)
	奈良時代	平城京に都が移る	出羽国成立、越後国域確定 国分寺がつくられる	栗原遺跡(妙高市) 八幡林官衙遺跡(長岡市) 今池遺跡(上越市) 延命寺遺跡(上越市) 山三賀II遺跡(聖籠町) 佐渡国分寺跡(佐渡市) 岩ノ原遺跡(上越市) 滝寺古窯跡群(上越市)
794	奈良時代	地方の役所が整備される 東大寺の大仏開眼供養会が行われる		
	平安時代	平安京に都が移る	遣唐使を廃止する	越後・越中国で地震発生
1185	平安時代	藤原氏が政治の力を握る		
	鎌倉時代	源頼朝が鎌倉幕府を開く 源頼朝が征夷大将軍となる	平野の開発が盛んになる 親鸞が越後に流される 順徳上皇が佐渡に流される 日蓮が佐渡に流される	大坪遺跡(阿賀野市) 住吉遺跡(新発田市) 木崎山遺跡(上越市) 東原町遺跡(柏崎市)
1338	室町時代	足利尊氏が室町幕府を開く 足利尊氏が征夷大将軍となる 応仁の乱が始まる	上杉憲頭が越後守護となる	浦廻遺跡(新潟市)
	室町時代	豊田秀吉が全国を統一する	上杉謙信が武田信玄と戦う	奥山荘城館遺跡(胎内市・新発田市) 春日山城跡(上越市) 津川城跡(阿賀町)
1573	徳川時代	関ヶ原の戦い 徳川家康が征夷大将軍となる	上杉景勝が会津に国替えとなる	平林城跡(村上市)
	江戸時代	明治維新 日清・日露戦争	佐渡で金・銀の採掘が盛んになる 戊辰戦争がおこる 今の新潟県ができる	佐渡金銀山遺跡(佐渡市) 高田城跡(上越市) 小川台場跡(佐渡市) 越後府跡(阿賀野市) 旧新潟税関(新潟市) 旧新津油田金津鉱場(新潟市)
1868	明治時代	明治維新 日清・日露戦争		
	昭和・平成・令和	第二次世界大戦	大河津分水路が完成する 新潟地震発生 十日町市笹山遺跡の火焰型土器等が国宝となる 中越・中越沖地震発生	

開館時間 9:00 ~ 17:00
休館日 年末年始(12月29日~1月3日)
※展示室は、土曜・日曜・国民の祝日も公開しています。

入館料 無料
駐車場 76台(無料)
※障がい者専用駐車場1台(正面玄関前)

交通のご案内

- JR 信越本線
 新津駅下車 タクシー 約15分
 古津駅下車 徒歩 約25分
- 路線バス(泉観光バス)
 新津駅東口発「金津」行
 割町下車 徒歩 約5分
- 路線バス(新潟交通観光バス)
 新津駅東口発「白根・潟東」行(矢代田経由)
 矢代田駅発「新津駅」行(日・休日運休)
 新津美術館入口下車 徒歩 約10分
- 秋葉区バス
 新津駅東口発「新津駅西口」行
 矢代田駅前発「新津駅東口」行
 美術館・植物園前下車 徒歩 約3分
- 自家用車・観光バス
 磐越自動車道新津ICから約15分
 国道403号バイパスから約2分



時空を超えて本物と出会う

新潟県埋蔵文化財センター 見学のしおり



縄文土器 台付鉢 六反田南遺跡(糸魚川市)
 [新潟県指定有形文化財(考古資料)]

新潟県埋蔵文化財センター Niigata Prefecture Archaeological Research Center

〒956-0845 新潟県新潟市秋葉区金津93番地 1
 TEL 0250-25-3981 FAX 0250-25-3986
 ホームページ <https://www.maibun.net/>



ようこそ！新潟県埋蔵文化財センターへ

にいがたけんまいぞうぶんかざい



新潟県埋蔵文化財センターは、新潟県が発掘調査した各地の遺跡情報を整理・保管・研究する施設です。出土品の収蔵量では県内随一を誇り、選りすぐりの出土品を展示して、新潟県の歴史を分かりやすく説明しています。

事前申込みにより、学校・団体による本物の土器を使った歴史学習や、出土品の閲覧も可能です。考古学に関する豊富な図書がそろい、整理作業風景をガラス越しに見学できるなど、魅力満載の施設です。

報告書の作成



発掘調査で出土した土器の復元や、図面作り、写真撮影などを行い、どんな遺跡だったのかを報告書にまとめます。平日は、これらの作業をガラス越しに見学することができます。

出土品の保存処理



金属製品は、不要なさびやその原因を取り除き、樹脂で強化します。腐りやすい木製品は、薬品を染み込ませて形を保ちます。

出土品の保管



土器や石器などの出土品は収蔵庫で保管しています。収蔵量は県内随一で、これらの出土品は県内外の展示会や研究に活用されています。

出土品の展示



新潟県の旧石器時代から江戸時代までの移り変わりを、出土品を通して紹介しています。また、様々なテーマの企画展を行っています。平日は希望者に展示品の解説をしています。

見学・体験



一般の方の見学はもちろん、事前の申し込みで学校などの団体の見学や体験（火起こし、勾玉作りなど）、学校への出前授業も受け付けています。このほか「キッズ考古学教室」や「まいぶん祭り」など、楽しいイベントを多数行っています。

図書の利用



資料室では、考古学に関する図書約8万冊を保管しています。平日は誰でも図書を見たり、調べたりできます。

【資料室の開室時間（平日）】
9:00～12:00、13:00～17:00

主な所蔵品のご紹介

すべて新潟県指定文化財（考古資料）



石刃等の接合資料(左)

ナイフ形石器(右上)

彫刻刀形石器(右下)

吉ヶ沢遺跡(阿賀町)

旧石器時代(約23,000年前)

石刃は石器の素材。ナイフ形石器は狩りに、彫刻刀形石器は木材等の加工に使用。

赤漆塗り糸玉

青田遺跡(新発田市)

縄文時代晩期(約2,500年前)

植物繊維を撚り合わせた紐に赤色漆を塗り重ね、束ねた漆製品。



石製模造品

余川中道遺跡(南魚沼市)

古墳時代中期(約1,600年前)



鏡や勾玉、剣を模した石製品。マツリの際、木の枝などに紐でつり下げて使用。

須恵器 円面硯

滝寺古窯跡群(上越市)

平安時代(約1,200年前)

役所や寺院などに納めるために焼かれた硯。脚に透かしや水鳥が見られる。



地鎮具(青銅製)

古瀬戸四耳壺

木崎山遺跡(上越市)

鎌倉時代(約800年前)



土地の神を鎮めるため、壺に青銅製の仏具を納めて埋めた。



※学校・団体による校外学習や出前授業、整理作業や館内の見学などを希望される方は、事前に下記へお問合せください。
電話 0250-25-3981(担当:普及・資料課) ホームページ <https://www.maibun.net/>
(職場見学では、普段公開していない施設を見学することができます。)